

学校としての評価結果の考察

数値はA・B評価の合計 ()内の数値は前年比

重点1「確かな学力の育成」

- (1) 生徒の授業への意欲 生徒92%(-1)
次の一手 → 個々の生徒の状況把握と教材研究を充実させ、個に応じた授業の充実・改善に努める。
- (2) わかりやすい授業 生徒 84%(-4) 保護者 85%(+4) 教員 100%(+8)
次の一手 → 個々の生徒の状況把握と教材研究を充実させ、個に応じた授業の充実・改善に努める。
- (3) 話し合いや教え合い 生徒90%(±0) 教員 88%(+3)
次の一手 → 学習指導と生徒指導を一体化させた授業づくりを意識して進める。(自己決定・自己存在感・共感的な人間関係・安全安心な風土)
- (4) 家庭学習 生徒 74%(±0) 保護者 55%(-8) 教員(+19)
次の一手 → 個別の実態把握に基づく、学習内容の選定や計画の立案など、家庭と連携した取り組みを進める。

重点2「自己有用感と豊かな心の育成」

- (1) 自分の長所を言える 生徒 73%(±0) 保護者 95%(±0) 教員 94%(+2)
次の一手 → 生徒同士の良さの認め合いを進めるとともに、良さや頑張りに気づかせる意図的な声かけを行う。
- (2) 責任感 生徒 93%(±0) 教員 100%(+8)
次の一手 → 良い結果をもたらした努力への機を逃さない言葉かけを行う。
- (3) あいさつ 保護者 90%(+3)
次の一手 → 北中のあいさつ4つの柱の意識化を進める。

- (4) いじめや嫌がらせがない 生徒 96%(-2)保護者 90%(+2)教員 94%(+9)
次の一手 → 未然防止を大事にした生徒理解・指導を進める。
- (5) 相談にのってくれる 生徒 94%(-3)
次の一手 → 相談できない生徒の声を拾うため、生徒との常日頃のかかわり、こまめな声かけを丁寧に行う。

重点3「健康でたくましい体」

- (1) メディアのルール 生徒 82%(-4) 保護者 45%(-6) 教員 76%(-1)
次の一手 → 学校・家庭・地域が一体となった取組を進める。
- (2) 朝食・睡眠 生徒 86%(+1) 保護者 69%(-5) 教員 88%(+11)
次の一手 → 保護者と連携した継続したアプローチを行う。
- (3) けが・事故防止 生徒 95%(-3) 教員 100%(±0)
次の一手 → 環境の整備、迅速な情報共有と即時指導を行う。
- (4) 生活のゆとり 生徒 86%(-5) 保護者 63%(-7)
次の一手 → 放課後の時間の使い方を、生徒自身に考えさせながら、学校と家庭が連携して整えていく。

重点4「開かれた学校づくり」

- (1) 地域に貢献する学校 保護者 88%(+5) 教員 82%(-3)
次の一手 → 地域学校協働活動推進員を窓口とし、地域活動、ボランティアへの参加の積極的な呼びかけを行う。
- (2) 情報発信 保護者 88%(-4) 教員 88%(-4)
次の一手 → 学校や生徒の様子継続した情報発信、デジタルの活用を進める。

生徒と教職員全員で、学校教育目標の実現に向け取組を進めてまいります。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。